

## 飯田市立病院の組織見直しについて

平成 29 年 4 月 1 日から次のように組織の一部見直しを行う。

### 1 事務局

#### (1) 見直しの内容

施設課を庶務課へ統合する。

#### (2) 見直しの目的

第 3 次整備事業が完了し、リニアック棟建設工事も順調に進捗しているため、従前に戻す。

### 2 地域医療部

#### (1) 見直しの内容

地域医療連携課及び患者サポートセンターを新設する。

#### (2) 見直しの目的

国は団塊の世代が 75 才以上となる 2025 年を視野に、医療と介護の一体的な改革を進めている。今後は、地域内の医療機関との役割分担や連携だけでなく、地域包括ケアシステムの構築に向け、介護関係者との連携や高齢者の生活支援、疾患予防、介護予防など幅広い視点で地域と関わる必要がある。

当院は、飯田下伊那の 2 次医療圏における中核病院として、紹介患者の受け入れ、逆紹介の推進をはじめ、入退院支援、患者相談などに取り組んできた。今後、その機能を充実させるため、地域医療部に「地域医療連携課」並びに「患者サポートセンター」を設置して、地域内の前方連携及び後方連携のさらなる推進を図る。

#### (3) 地域医療部の具体的な役割

- ①医師会や飯伊地区包括医療協議会と連携して、地域内の診療所・病院との連携と役割分担を進める
- ②紹介・逆紹介により、当院がより専門的で高度な医療を提供できるようにする
- ③患者情報の共有化により、地域全体で安全で安心な医療を提供する体制をつくる
- ④地域全体の医療向上を支える活動
- ⑤在宅介護支援、訪問看護、訪問リハビリによる地域に密着したサービス提供
- ⑥患者に寄り添ったサポート体制の充実

#### 【地域医療連携課】

- ①地域内の医療機関や介護事業所等との連携  
(病病・病診連携・検査機器の共同利用・セカンドオピニオン窓口、地域医療連携パスの推進、入院調整、多職種による支援調整、転院・在宅医療コーディネート等)
- ②地域への広報活動  
(出前講座の開催、病院ニュースの発行ほか)
- ③飯田下伊那診療情報連携システム「ism・Link」の推進
- ④地域の医療従事者を対象にした研修の実施
- ⑤南信州在宅医療・介護連携推進協議会へ参画

【患者サポートセンター】

- ①入院から退院までのマネジメント  
(医師・薬剤師・看護師・MSW 等による連携)
- ②治療に関する相談など患者サービスの向上  
(がん患者相談、退院支援、患者・家族が抱える心理的・社会的な問題の解決ほか)
- ③入院手続きの集中化

3 組織見直しの概要

